



『個別化健康・治療管理の未来』 ～ 慢性病を患う子供・若者への E ヘルス技術の活用～

Japan-Denmark TeleTech Roundtable (JD TeleTech)では、患者志向・個別医療に関して討議を続けてまいりました。今回は、慢性疾患を持つお子さん、若者そして彼らの家族、さらに妊娠・出産・子育てまで視野に入れ、ヘルスケアシステムの課題についてお話いただきます。次なるステップは？ 日本・デンマーク両国で、この課題に取り組むためには、JD TeleTech 内でどのように協力し合っていけばよいか？ 等々、ラウンドテーブルにお越しの皆様とともに、議論を深めていただきたいと思います。

なお、今回のラウンドテーブルは、今年4月に行われました『個別化健康・治療管理の未来』～日本・デンマーク両国の E ヘルス技術の新領域～の続編です。

主催：デンマーク大使館

協賛：日本アイ・ビー・エム株式会社

デロイト トーマツ ヘルスケア（モニターデロイト、有限責任監査法人トーマツ）（予定）

日時：令和1年12月3日(火) 16:00-19:30 (ネットワーキングイベントを含む/受付 15:30 より)

場所：東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号 セミナールーム



参加費：無料

お問い合わせ先：デンマーク大使館 Invest in Denmark 飯田留美
rumiid**um.dk (メール送付の際は**を@にご変更ください) 定員約 60 名、**締め切り 11 月 28 日**

お申込み：[2019年12月3日\(火\)デンマーク大使館主催ラウンドテーブル 申込書](#)

*) セッションは英語で行われます。

*) 都合によりプログラムが一部変更される場合がございますのでご了承ください。

*) セミナールームへの入室・退出は IBM の方の誘導に従い、お一人での行動はお避け下さい。

司会:

Ms. Birthe Dinesen, PhD, Professor & Head of Laboratory for Welfare Technology - Telehealth & Telerehabilitation, Department of Health Science and Technology, Aalborg University

<ラウンドテーブル参加者 (登壇順)>

デンマーク側:

- 1) Mr. Poul Erik Jakobsen, MD, PhD, CEO Steno Diabetes Center North Denmark, Aalborg University Hospital
- 2) Mr. Claus Rehnfeld, Chairman, COB Hedia
- 3) Ms. Birthe Dinesen, PhD, Professor & Head of Laboratory for Welfare Technology - Telehealth & Telerehabilitation, Department of Health Science and Technology, Aalborg University
- 4) Ms. Hanna Ekman, Manager, Open Telehealth
- 5) Mr. Hannu Martikainen, Manager, Open Telehealth
- 6) Mr. Jens Bredbjerg Brock Thorsen, Master student in Clinical Science and Technology, Aalborg University
- 7) Ms. Lahila Fanta Diaby, Master student in Clinical Science and Technology, Aalborg University

日本側:

- 1) 医療法人社団嗣業の会 理事長 小児科医師 黒木春郎 様
- 2) 千葉大学医学部産婦人科 産婦人科医師 林伸彦 様
- 3) 株式会社 Kids Public 代表 小児科医師 橋本直也 様
- 4) 一般社団法人 こども未来共生会 理事長 臨床心理士 中島展 様
- 5) 筑波大学 医学医療系・准教授 (小児保健看護学) 涌水理恵 様

***** プログラム *****

16:00 開会挨拶

デンマーク大使館・公使参事官 (Health 担当) Mr. Joakim Steen Barron-Mikkelsen

16:05 日本 IBM 株式会社 金子様からのご挨拶

16:10~ 17:00 プレゼンテーション (5~10 分毎・デンマーク人と日本人が交互に行います)

1. **"Online MediCare in Japan – challenges and expectation** (日本におけるオンライン診療の課題と期待)" 医療法人社団嗣業の会 黒木春郎 様
2. **"Children and adolescents living with diabetes, challenges and visions for future"** by Dr. Poul Erik Jakobsen
3. **"Online total care from pregnancy to birth incl. fetal diagnosis** (遠隔医療と妊娠出産支援-胎児診断も含めて)" 千葉大学医学部産婦人科 林伸彦 様
4. **"Digital app for diabetes"** by Mr. Claus Rehnfeld, Chairman, COB Hedia
5. **"Online Childcare Support** (遠隔医療相談による育児支援)" 株式会社 Kids Public 橋本直也 様

17:00~17:30 Coffee Break & ネットワーキング

17:30~ 18:20 プレゼンテーション (5~10 分毎・デンマーク人と日本人が交互に行います)

6. **"Can gamification be a tool to empower children living with a chronic disease?"** by Professor Birthe Dinesen
7. **"Case of online rehabilitation for development disorder - Potentiality of Online MediCare (神経発達症事例への療育の実際-遠隔での可能性)"**
一般社団法人 こども未来共生会 中島展 様
8. **"Introduction of Open TeleHealth (plan)"** by Ms. Hanna Ekman, Manager & Mr. Hannu Martikainen, Manager, Open Telehealth
9. **"Expectation on Online/Telemedicine from the viewpoint of pediatric nurse (小児看護からの遠隔医療への期待)"** 筑波大学医学医療系 涌水理恵 様
10. **"Usability test of a Japanese telerehabilitation diabetes system"** by Mr. Jens Bredbjerg Brock Thorsen & Ms. Lahila Fanta Diaby

18:20 頃より Discussion (フロアーの方も交えて)

19:00~ ネットワーキング

19:30 閉会

<追記>

JD TeleTech Network (JD は Japan-Denmark の略)

正式名称は、Japanese & Danish Research Network on Telehealth/Telerehabilitation and Welfare Technologies 以下のことを目標としている. . .

- 新しい技術を用いることにより、慢性疾患に悩む人々の quality of life の向上に努める
- ヘルスケア専門家のワークフローを簡易化させ慢性疾患に悩む人々との協力をしやすくする
- 新しい telehealth/telerehabilitation および welfare 技術の開発、試験、評価において、日本・デンマーク両国の大学・病院・地方自治体・企業間で協力関係を図る
- 日本・デンマークの官民パートナーシップを元に、診断、治療およびリハビリを目的とした新しい製品、メソッド、ソリューションの開発を促進させる

JD TeleTech Network は、本年 4 月に日本にて、6 月にはデンマークにてラウンドテーブルおよびワークショップを行っている。